

令和6年度 シラバス

愛媛県宇和島東高等学校津島分校

教科	商業	科目	ビジネス基礎	単位数	2	学年	3年	類型	ビジネスコース
教科書	ビジネス基礎（実教出版）			副教材	全商ビジネス計算実務検定模擬試験問題集 2級・1級（実教出版）				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点		
				知	思	主			
1 学期	4	第7章 ビジネス計算	1 ビジネス計算の基礎（Ⅱ）	1 割合	乗算・除算・見取算	◎	○	<p>学習のねらい</p> <p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力と次のとおり育成することを目指す。</p> <p>学習の目標</p> <p>ビジネスの実務に即して体系的かつ系統的に理解すると共に、関連する技術を身に付けるようにする。また、ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。更には、ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的・協働的に取り組む態度を身に付ける。</p> <p>評価の観点</p> <p>知識・技能</p> <p>ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに[関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。</p> <p>備考</p>	
				2 商品の数量と代価	乗算・除算・見取算	◎	○		
	5	第6章 ビジネスと売買取引		3 仕入原価と売価（販売価格）	乗算・除算・見取算	○	◎		
			2 ビジネス計算の応用（Ⅱ）	1 度量衡の換算	乗算・除算・見取算	○	◎		
				2 外国貨幣の換算 3 利息の計算	中間考査	◎	◎		
	6		2 代金決済	1 売買取引の手順	1 売買取引とは 2 売買取引条件の取り決め	1 普通計算問題（2級） 2 ビジネス計算問題（2級）	◎		○
					3 売買取引の締結	〃	◎		○
					4 売買取引の履行	〃	◎		○
					1 現金通貨による決済 2 小切手による決済 3 約束手形による決済 4 銀行振込と口座振替による決済 5 キャッシュレス決済	〃	◎		○
	7	第2章 ビジネスとコミュニケーション	1 コミュニケーション	1 コミュニケーションの役割 2 話し方と聞き方		○	◎		
2 ビジネスマナー			1 ビジネスマナーの重要性 2 基本的なビジネスマナー 3 場面に応じたビジネスマナー		○	◎			
2 学期	8								
	9	第4章 さまざまなビジネス	3 情報の入手と活用	1 情報の重要性と扱う際の注意点 2 情報の入手方法 3 情報の活用		○	◎		
			6 情報通信業	1 情報通信業のビジネス 2 情報通信業の種類	1 普通計算問題（1級） 2 ビジネス計算問題（1級）	○	◎		
	10	第5章 企業活動の基礎			中間考査	◎	◎		
				3 情報通信業の新たな展開	1 普通計算問題（1級） 2 ビジネス計算問題（1級）	○	◎		
			1 ビジネスと企業	1 企業とは 2 企業組織の種類と運営 3 経営戦略 4 プロジェクト・マネジメント	〃	◎	○		
	11		2 マーケティングの重要性	1 マーケティングとは	〃	〃	○	◎	
				2 マーケティングの手順	〃	〃	○	◎	
				3 資金調達	1 資金と資金調達 2 資金調達の方法	〃	◎	○	
				4 財務諸表の役割	3 資金調達に伴う責任 1 財務諸表とは	〃 期末考査	◎	◎	
12		5 企業活動と税	2 利害調整 3 情報提供	〃	〃	◎	○		
			1 税の役割と種類 2 税の申告と納付	〃	〃	◎	○		
3 学期	1	6 雇用	1 雇用の意義 2 日本における雇用の特徴	〃	〃	◎	○		
			3 さまざまな雇用形態 4 雇用に伴う企業の責任	〃	〃	◎	○		
					学年末考査	◎	◎		
2			家庭学習						
			〃						
			〃						
3									

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【科目の特色】

- 身近な消費生活に興味・関心を持ち、常に新聞や雑誌、ニュースなどから情報を収集する習慣を身に付けることが、広い視野と社会の変化に柔軟に対応できる能力を作り上げることに繋がります。
- 計算問題は解けば解くほど、計算能力の技能が向上します。家庭での学習習慣を身に付けましょう。

【授業】

- ビジネス基礎の授業は週に2時間あります。
- ビジネスに対する心構えやマナーを、授業の中でしっかりと身に付けること。まず、挨拶や言葉遣い、授業のルールを守るといった基本的なことから心がけることが大切です。
- 1時間の授業の流れは、次のようになります。
 - ① ビジネスマナーの練習を行います。
 - ② 電卓計算問題演習を行います。
 - ③ 教科書の内容を確認して要点を整理します。→ 教科書・ノートで確認しやすくしておくことが大切です。
- 覚えた語句を用いて問題を解くことが基本です。
- ノートは、板書に加えて、口頭で示された重要ポイントも記しておく、復習する時に役立ちます。

【家庭学習】

- 原則、授業時間内に理解します。後で確認しようと思わず、大事なことは授業時間内に覚えましょう。
- ビジネス基礎の家庭学習は復習が基本です。授業で学習した内容は、その日のうちに復習してください。
- 当たり前のことですが、問題集、レポート、感想文などの課題は必ず提出すること。

【定期考査】

- 中間考査、期末考査を実施します。
- 語句の意味、表記などを正確に覚えることが基本になります。
- 電卓を用いた計算問題で技能を測ります。継続は力なりです。毎日の地道な練習を大事にしてください。
- ビジネス計算問題を解答するためには、問題を読む力と思考力が必要です。普段から粘り強く取り組む姿勢を身に付けましょう。

◆評価の方法、基準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況及び学習意欲、課題提出とその内容、ファイル等の整理状況を ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度の 三つの観点から総合的に 評価します。	
評価の基準	1 学期	中間考査・期末考査(① ②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) 印刷物・ファイルの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に③の観点から評価します。)
	2 学期	中間考査・期末考査(① ②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) 印刷物・ファイルの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に③の観点から評価します。)
	3 学期	学年末考査並びに検定試験(① ②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) 印刷物・ファイルの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に③の観点から評価します。) 検定試験への取組姿勢(主に③の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の成績を総合的に評価します。